2022/6/20

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-6859

先週までのマーケット動向（6 月 13 日～6 月 17 日）

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,280.0	1,293.2	1,276.5	1,287.3	+18.4
JPY/KRW	9.4970	9.7596	9.4870	9.6046	+0.130
KOSPI	2,550.21	2,550.32	2,396.47	2,440.93	▲154.94

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は大きく上昇した。10日に発表された米5月CPI(結果:前年比+8.6%、予想:同+8.3%)が約40年ぶりの高水準を記録したことで、再び米利上げ加速への懸念が市場に広がり、13日のドル/ウォンは1,280.0にてオープン。週前半は著名なFEDウォッチャーが6月FOMCにて75bp利上げの可能性を指摘したことで、ドル/ウォンは確実に上値を切り上げ1,293.2まで上昇した。15日未明のFOMCでは大方の予想通り75bpの利上げ（上限1.00%→1.75%）を実施したものの、パウエルFRB議長が一度に1.00%の利上げについて否定的な意見を示すと、米金利は全年限で大きく低下。ドル/ウォンも16日開始時に週安値1,276.5まで反落した。しかし、インフレへの懐疑的な見方から世界的な株安が継続したこと等あり、週末にかけてドル/ウォンの下値は底堅く、結局先週末対比18.4ウォン上昇した1，287.3ウォンでクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い展開を予想する。インフレの低下が見込めない中、市場全体でのドル買い圧力が断続的にかかることが想定される。一方で、韓国当局はウォン安への懸念を示しており、節目の1,300を前に介入への警戒感も市場では広がっている印象だ。しかしながら、資源価格の上昇からくる経常収支の悪化により、実需のウォン買いは確実に弱まっており、外国人投資家による株売りも続く状況では、足許ウォン買い材料に乏しいと言わざるを得ないだろう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1275 ～ 1305	9.35 ～ 9.65	134.5 ～ 136.5

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)

* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)

今後の予定

21日(火) 米 5月 中古住宅販売件数
22日(水) 欧 6月 消費者信頼感指数 速報値
23日(木) 米 6月 失業保険新規申請者数
欧 6月 サービス業PMI 速報値
米 6月 サービス業PMI 速報値
欧 6月 製造業PMI 速報値
米 6月 製造業PMI 速報値
24日(金) 米 6月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
日 5月 CPI
米 5月 新築住宅販売件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。